



※本プレスリリースは Danone（本社：フランス・パリ、共同暫定 CEO：ヴェロニク・パンシェナティ＝ボセッタ、シェーン・グラント）が 2021 年 5 月 17 日（現地時間）に発表した[英文プレスリリース](#)の抄訳です。

ダノン、アントワーヌ・ド・サンタフリークを新 CEO に任命

ダノンは本日、2021 年 9 月 15 日付で、アントワーヌ・ド・サンタフリーク (Antoine de Saint-Affrique) を最高経営責任者 (CEO) に任命することを発表しました。この取締役会の決定は、ガバナンス委員会が主導した厳格な選考プロセスに基づくものです。サンタフリークは、現在の共同暫定 CEO であるヴェロニク・パンシェナティ・ボセッタ (Véronique Penchienati-Bosetta) とシェーン・グラント (Shane Grant) の後継となります。

取締役会はさらに、サンタフリークを新たな取締役とすることを、2022 年 4 月に行われる定時株主総会において提案することを決定しました。

サンタフリークは世界的なチョコレートとココア製品メーカーのバリーカレポー (Barry Callebaut) 社で 2015 年 10 月から CEO を務めており、同社からダノンに移ることになります。バリーカレポー社の前には世界的な消費財企業であるユニリーバ社で、特に食品部門をはじめさまざまな上級幹部職を歴任しました。

ダノン会長ジル・シュネップ (Gilles Schnepp) は、次のように述べています。

「私たち取締役会は、企業としての進化の次の段階においてダノンを主導できる最適な人物を迅速に探したという約束を果たしました。これは当社のリーダーシップの新たな始まりであり、取締役会としてすでに数週間にわたり行ってきたガバナンス移行作業の継続でもあります。取締役会は、アントワーヌが消費財の世界で傑出したリーダーであることに全会一致で同意しています。彼にはイノベーションとその実現について見事な実績があります。重要なポイントとして、彼は戦略的ビジョン、国際的な消費財の業界経験、オペレーション遂行能力の適切なバランスをダノンにもたらすでしょう。取締役会は、アントワーヌが他の経営首脳陣とともに、株主とすべての利害関係者に持続可能な価値を提供していくと確信しています。目的主導の成長戦略を持続可能なやり方で成功させるアントワーヌの能力はすでに実証済みであり、当社の使命と長期的な目標にも合致しています。彼には、CEO としてダノンの未来への戦略をより良い形で評価し主導できるよう、必要な機会とリソースが与えられることとなります。またアントワーヌを迎えるにあたって、ヴェロニクとシェーンに対し、9 月 15 日までの共同暫定 CEO としての貢献とサポートに取締役会を代表して感謝を述べたいと思います」

アントワーヌ・ド・サンタフリークは、次のように述べています。

「これまで常に私にインスピレーションを与えてくれた会社に入り、間もなくそのリーダーとなれることを誇りに、また光栄に思います。私はダノンの豊かな伝統とあらゆる分野におけるパイオニア精神に深く感銘を受けてきました。たとえば、長年にわたって食品を通じ世界中の人々に健康をお届けしてきた、強力で革新的なブランド群。何十年もの間、会社の中心にあった社会と経済を結びつけるデュアル・プロジェクト。そして多様性と包摂性を両立させる揺るぎない独自の人事文化。ダノンには、世界中の人々の飲食に関与し貢献し続ける大きな可能性があると思っており、すべてのダノン従業員、執行委員会、取締役会とともに、ダノンの成長と使命を推進するための新たな

幕開けを一緒に迎えられることを楽しみにしています」

略歴

アントワーヌ・ド・サンタフリーク (Antoine de Saint-Affrique)

1964 年生まれ。2015 年 10 月 1 日から現在まで、バーバリー社の CEO 最高経営責任者を務めています。

2011 年 9 月から 2015 年 9 月まで、ユニリーバ社の食品部門のプレジデント、また、ユニリーバ社の業務執行役員を務め、合計売上年間 124 億ユーロの企業群を担当していました。それ以前には、ユニリーバのスキンケア製品担当のエグゼクティブ・バイスプレジデントを務めており、この部門にはダヴ、ラックス、ライフボーイ、ポンズといった主要ブランドが含まれていました。2005 年から 2009 年までは、21 か国を含むユニリーバの中東欧地域担当エグゼクティブ・バイスプレジデントも担当しています。2000 年にユニリーバに再入社する以前は、食品会社アマラ・マイユ (Amora Maille) 社のマーケティング担当バイスプレジデント兼パートナーでした。同社はレバレジッド・バイアウトによってダノン・グループから売却されました。

アフリカ、アメリカ、ハンガリー、オランダ、ロシア、イギリスに居住経験があり、また 1987 年から 1988 年まで予備海軍士官を務めました。

在スイス米国商工会議所の理事であり、FTSE 100 企業であるバーバリー (Burberry PLC) 社の非執行取締役を務めています。

ESSEC ビジネススクールで経営学の学位を取得 (1987 年)、ハーバード・ビジネス・スクールでエグゼクティブ教育の資格を取得しています。また、2004 年からは、パリ国立高等鉱業学校でマーケティングの講義を行っています。

■ダノンについて <http://www.danone.com>

ダノンは、チルド乳製品と植物由来の製品、ウォーター、専門栄養食品をあわせた、健康に焦点を当てた 3 事業で急成長を遂げている、飲食業界における地域密着型のリーディングカンパニーです。「私たちの健康と健全な地球は繋がっている」という強い信念のもと、ダノンは「One Planet. One Health」というビジョンを掲げ、より健康で持続可能な飲食習慣を促すことを目指しています。食の革命 (フードレボリューション) を加速させ、すべてのステークホルダーに優れた持続可能で収益性の高い価値を創造するために、ダノンは 9 つの 2030 年目標を定め、そして、フランス版の「Public Benefit Corporation」(※アメリカの法人格) である、「Entreprise à Mission (使命を果たす会社)」モデルを採用した初の上場企業として道を切り開いてきました。ダノンは、「より多くの人々に食を通じて健康をお届けする」という目的を掲げ、定款に定められた社会、社会的、環境的な目標に取り組み、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に沿って、効率的で責任のある包摂的な方法で事業を展開することを約束します。また、ダノンは、2025 年までに B Corp™ 認証を取得した最初の多国籍企業の一つとなることを目指しています。

ダノンは、世界 120 以上の市場で事業展開し、全従業員は 10 万人を越えます。2020 年の売上は 236 億ユーロでした。ダノンには、国際的に認知度の高いブランド(「アクティビア(日本では「ダノンビオ」として販売)」「アクティメル」「アルプロ」「アプタミル」「ダネッテ」「ダノニーノ」「ダニオ」「エビアン」「ニュートリシア」「ニュートリオン」「ボルヴィック」など)や、ローカルブランド(「アクア」「ブレディナ」「ボナフォン」「カウ・アンド・ゲート」「ホリゾン オーガニック」「マイゾーン」「オikos」「プロストヴァンキーノ」「シルク」「ヴィーガ」など)があります。ダノンは、ユーロネクスト・パリ証券取引所と、米国預託証券プログラムを通じて、OTCQX に上場しています。Vigeo Eiris や Sustainalytics が運用するサステナビリティインデックスをはじめ、「エティベル・サステナビリティ・インデックス」、「MSCI ESG インデックス」、「FTSE4Good インデックスシリーズ」、「ブルームバーグ・ジェンダー・イクオリティ・インデックス」、「アクセス・トゥー・ニュートリション・インデックス」などの主要な社会的責任投資インデックスに選出されています。